

樋野伸一市議 9月議会一般質問① 危険な島根原発は廃炉を



樋野伸一
市議会議員

樋野伸一議員は9月議会で3項目の質問をしました。島根原発の問題について報告します。

昨年1月の能登半島地震で、志賀原発から30km圏内の21の放射線防護施設の内14施設が損傷しました。樋野市議は

「島根原発30km圏内に現在の19の放射線防護施設があるが周辺人口からすれば圧倒的に放射線防護施設が足りない」として30km圏内で陽圧装置を希望する施設への設置を求めました。また「地震大国である日本で、直下型地震が起これば炉心が損傷する可能性もある」として「人類と共存できない島根原発は廃炉にすべき」と訴えました。

補助金があるが、早期の避難が困難な病院や介護施設の入所者など一時的な退避施設として概ね10km圏内の施設を対象に都道府県が事業者に補助を行い実施している。令和4年内閣府から屋内退避の有効性に関する研究報告に基づき10km以遠の建物へ屋内退避することでPAZ内の放射線防護対策施設と同程度の放射線による影響の低減効果が認められており、追加の整備は必要ないと考えている」と答えました。

松浦徹理事は「原子力発電はエネルギーの安定供給の観点から必要だが市民安全安心が大前提。引き続き国や事業者に求める」と回答しました。

佐野みどり市議 9月議会一般質問① まちづくりの土台 地域公共交通に積極的支援を



佐野みどり
市議会議員

佐野みどり市議は9月議会で3項目の質問をしました。「まちづくりの土台として、地域公共交通に積極的な支援強化を」について報告します。

佐野市議は「タクシー不足と日本版ライドシェアの問題点について、タクシードライバーの処遇改善による運転手の確保が必要である、▽市バスと一畑バスの共同運行が令和8年4月から開始する件で、ゾーン制運賃の導入や、バス路線の変更について利用者の意見をしっかりと聞くこと、変更点の説明や周知、通院利用

者へ特に配慮が必要だと訴えました。

松岡義幸まちづくり部政策監は「タクシードライバーの処遇改善については、引き続き県と連携し、運転手の処遇改善や、雇用拡大に取り組む事業者を支援し運転手の確保に取り組む」「共同運行、運賃制度の共通化については、公共交通で暮らしやすい未来を実現するプロジェクトチームで利用者、地域代表、事業者などが意見交換している。今後計画の素案がまとまればパブリックコメントを実施し、運賃制度は運賃協議会で協議する」「病院への接続便は利便性確保へダイヤを検討する」と答えました。

美保基地軍事基地化の現段階 松江革新懇が学習講演会



講演する長尾氏

9月20日松江革新懇が「美保基地の軍事基地化の現段階」と題して、元境港市議の長尾達也氏を講師に学習会を開催し30名の市民が集いました。これは防衛省が美保基地の空中給油機を追加配備し計10機とする計画が現実化するもとで市民とその危険性を共有しようとして企画されました。

ミサイル基地として九州に先行配備、大分県由布市、熊本市、沖縄県うるま市、石垣島、宮古島、奄美大島など南西諸島を要塞化する計画がある。政府は今年3月、台湾有事を見据え、沖縄県先島諸島で、住民と観光客など12万人を九州各県や山口県に避難させる計画を公表しており、現代版強制疎開というしかない」と告発。第一段階は南西諸島だが、今後富士山周辺、第三弾は北海道に配備する検討に入っており、「日本全土がミサイル列島化」する危険があると報告しました。

美保基地について、戦前は海軍航空隊の基地で、朝鮮戦争の際米軍の朝鮮戦争の前線基地として利用されたがジェット戦闘機の基地化は住民運動で許さなかった、その後教育訓練基地の役割を果たしてきた。美保基地に於いて、戦前は海軍航空隊の基地で、朝鮮戦争の際米軍の朝鮮戦争の前線基地として利用されたがジェット戦闘機の基地化は住民運動で許さなかった、その後教育訓練基地の役割を果たしてきた。



松江市の状況を報告する たちばな市議

たちばなふみ市議が松江市の現状として、美保基地のC2大型輸送機は、松江市の八束町や東出雲町の民家や学校の上空で日常的に訓練しており、2021年5月にC2の部品である1・5キロのスプリングが訓練中に落下した事案、米軍の戦闘機が緊急着陸した際の様子、昨年8月に空中給油機で訓練中トラブルがあり、給油ブームが出た状態で着陸した事などを報告し「追加配備されれば明らかに危険が増す」と指摘。これまでの議会論戦や「沖縄と連帯する島根の会」の要請で23年に「美保基地視察ツアー」を行ったことを紹介。松江市議会では空中給油機追加配備について6月議会で防衛省から説明を受け、9月22日の議会全員協議会で各会派が意見を述べることを報告しました。馬毛島の基地建設に反対する市民グループの活動報告や、出雲駐屯地の軍事パレードの様子について参加者から発言があり、平和について考える機会となりました。